

**繊維補強セメント系複合材料の新しい利用法研究委員会（JCI-TC-104A）  
第2回委員会議事録案**

日 時：平成22年10月6日（金）15:00～17:30

場 所：JCI 会議室

出席者：金子，国枝，金久保，栗橋，網野，石原，磯，伊藤，岩波，菊田，斯波，諏訪田，  
瀬古，長井，永井，平田，堀口，前田，室賀，山野辺，渡辺，JCI 井上

欠席者：浅井，塩永

（敬称略）

資 料：

- 2-1 第2回議事次第
- 2-2 委員会名簿
- 2-3 第1回委員会議事録案
- 2-4 第2回幹事会議事録案
- 2-5 適用方法一覧
- 2-6 環境対応 WG メモ
- 2-7-1 ISO/TC71 第16回総会報告
- 2-7-2 ISO/TC71/SC6 委員会議事録

議 事：

1. 委員長挨拶

金子委員長より，開会の挨拶があった。

2. 新規委員自己紹介

本委員会から初参加の委員（磯委員，岩波委員，小川委員，前田委員）の自己紹介があった。

3. WG 報告

各 WG 主査から，WG の活動報告がなされた。主な内容は以下のとおり。

<WG1 新しい利用法>

- ・適用実績の調査表の作成作業を行っている。
- ・土木，建築の区分け，実用化，研究レベル（論文）などの区分けを明確にするのが良い。
- ・比較表により，どのような情報を引き出すことができるのか再考する。
- ・WG メンバーでまずは，情報収集を行い，引き続き WG 以外の委員からも情報収集することとした。

<WG2 性能評価>

- ・繊維補強材料のメリットとしては「ひび割れ幅」であり，ひび割れ幅の抑制がもたらす性能を中心に情報収集を行い，議論する。
- ・時間軸を考慮した性能評価方法についての議論があると良い。
- ・適用とも大きく関連するため，WG1 の活動との調整を行っていく予定である。

<WG3 環境対応>

- ・繊維単体の CO<sub>2</sub> や電力使用量などの情報を明確にしていく予定である。
- ・環境対応に配慮した新しい利用法を検証，提案する予定である。
- ・長寿命化による環境対応の事例を収集する。

#### 4. その他

- ・WGの参画に関する希望などがあれば幹事長に連絡する。
- ・ISO/TC71への対応について、金久保幹事から短繊維補強材料の試験方法の制定に向けた活動を視野に入れているとの紹介があり、参画希望者があれば金久保幹事に連絡することとした。

#### 5. 次回開催予定

日時：平成23年1月7日（金）

13時～ 各WG開催

15時～ 全体委員会

場所：JCI会議室

以上